

第4期柏市地域健康福祉計画
取り組みの進捗状況
～令和5年度末実績(結果指標・活動指標)～

第4期地域健康福祉計画の体系

[基本理念]

だれもが、その人らしく、住み慣れた地域で、共に、いきいきと暮らせるまち 柏

地域共生社会の実現

重層的支援体制

[基本方針]

柱1
だれもが身近な地域の
問題に関心を持ち共に
支えあう地域づくり

柱2
だれもが暮らしの問題を
相談でき解決できる
仕組みづくり

柱3
だれもが健康でいきいき
と暮らせる地域づくり

柱4
だれもが安全・安心に
暮らせる環境づくり

[基本施策]

(1) 地域での支えあい、
助けあい活動の促進

(2) 地域福祉活動団体への支援及び
活動拠点の整備

(3) 地域福祉を担う人材の育成

(1) 相談窓口の充実

(2) 課題解決に向けた
ネットワークの構築

(3) 情報発信の充実

(1) 地域を核とした健康づくりの
促進

(2) 地域医療の充実

(3) 社会参加の促進

(1) 防災・防犯対策の充実

(2) 居住・移動支援の充実

(3) 権利擁護の推進

[取り組み]

- | | |
|------------------------|----------------|
| ① 地域生活課題の解決に向けた住民参加の促進 | ② コーディネートの充実 |
| ③ 見守り活動の推進 | ④ 意識啓発・福祉教育の充実 |

- | | |
|----------------|-----------------------|
| ① 地域福祉団体への支援 | ② 地縁型組織や目的型組織同士の連携の促進 |
| ③ 活動・交流拠点の整備充実 | |

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ① 多様な活動分野における人材の育成 | ② ボランティア活動機会の提供 |
|--------------------|-----------------|

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| ① 総合的な相談支援体制の充実 | ② 高齢者・障害者・子育て支援等相談窓口の充実 |
| ③ 相談窓口の周知の徹底 | ④ 専門的人材の育成 |

- | | |
|---------------|---------------------|
| ① 地域での相談体制の構築 | ② 課題解決に向けた多機関の連携・協働 |
| ③ 市役所内の連携強化 | |

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 情報の多様な発信の強化 | ② 情報バリアフリーの推進 |
|---------------|---------------|

- | | |
|-------------------|---------------|
| ① 身近な地域での健康づくりの促進 | ② 生活習慣病の予防の促進 |
| ③ こころの健康づくりの充実 | |

- | | |
|-----------------|-------------|
| ① 在宅医療の普及と定着 | ② 救急医療体制の整備 |
| ③ 在宅サービス提供体制の充実 | |

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① 高齢者・障害者等の社会参加 | ② アウトリーチの仕組みづくり |
| ③ 参加支援の充実 | |

- | | |
|------------------|-------------|
| ① 平常時の防災・減災対策の充実 | ② 災害時の対策の充実 |
| ③ 防犯対策等の充実 | |

- | | |
|--------------|-----------|
| ① 居住支援の充実 | ② 移動手段の充実 |
| ③ バリアフリー化の促進 | |

- | | |
|---------|--------------------|
| ① 虐待の防止 | ② 権利擁護の仕組みの周知と利用促進 |
|---------|--------------------|

〔柱1〕 だれもが身近な地域の問題に関心を持ち共に支えあう地域づくり

活動指標

(1) 地域での支えあい、助けあい活動の促進

〔事業数〕

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
①地域生活課題の解決に向けた住民参加の促進	－	3	1	－	1	5	地域活動が復活し、目標値に向けて回復傾向
②コーディネートの実施	2	2	－	－	－	4	設置数などは目標どおりに推移
③見守り活動の推進	1	4	－	－	1	5	担い手確保に向け、周知啓発を実施
④意識啓発・福祉教育の実施	1	2	1	－	－	4	講座やイベントの実施回数が増加
合計(割合)	4 (21.1%)	11 (57.9%)	2 (10.5%)	0 (0%)	2 (10.5%)	19	

(2) 地域福祉活動団体への支援及び活動拠点の整備

〔事業数〕

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
①地域福祉団体への支援	－	3	2	－	1	6	ボランティア活動者の現状把握
②地縁型組織や目的型組織同士の連携の促進	1	1	1	－	－	3	設置数などは目標どおりに推移
③活動・交流拠点の整備充実	－	4	－	－	－	4	稼働率は回復傾向。利用者数も増加
合計(割合)	1 (7.7%)	8 (61.6%)	3 (23.0%)	0 (0%)	1 (7.7%)	13	

(3) 地域福祉を担う人材の育成

〔事業数〕

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
①多様な活動分野における人材の育成	－	3	1	－	－	4	子育て支援に関するイベントの大規模開催
②ボランティア活動機会の提供	1	－	1	－	－	2	ポイント付与の環境整備を図り、参加者が増加
合計(割合)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	0 (0%)	0 (0%)	6	

活動指標



結果指標

結果指標

結果指標(市民アンケート結果)	平成 29 年度 実績値	令和3年度 実績値	令和 5 年度 実績値	令和6年度 目標値
支えあい・助けあいの関心度の増加	66.0%	64.7%	74.5%	75.0%
ボランティアに参加している割合の増加	13.5%	15.4%	12.1%	25.0%

支えあい・助けあいの関心度は令和6年度目標値に近い数値となりました。
ボランティアに参加している割合は減少しましたが、「どのようなボランティア活動があるか知らない」「きっかけがない」といった声が多くなっており、活動に取り組める可能性があることから、引き続き地域の交流の場や活動拠点の整備に努めます。

〔柱2〕 だれもが暮らしの問題を相談でき解決できる仕組みづくり

活動指標

(1)総合的な相談支援体制の充実

〔事業数〕

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
①総合的な相談支援体制の 充実	2	3	－	－	1	6	相談件数が増加傾向
②高齢者・障害者・子育て支 援等相談窓口の充実	2	3	2	－	1	8	相談件数が増加傾向
③相談窓口の周知の徹底	－	2	－	－	－	2	市民が情報を検索しやす いよう HP を見直し
④専門的人材の育成	1	2	－	－	－	3	研修内容の工夫, 人材の 資質向上
合計(割合)	5 (26.3%)	10 (52.6%)	2 (10.5%)	0 (0%)	2 (10.5%)	19	

(2)課題解決に向けたネットワークの構築

〔事業数〕

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
①地域での相談体制の構築	1	－	1	－	1	3	相談件数が増加傾向
②課題解決に向けた多機関 の連携・協働	2	－	－	－	2	4	複雑化した課題に対応 できる連携強化
③市役所内の連携強化	－	－	1	－	－	1	連携強化に向けた会議 内容を充実
合計(割合)	3 (37.5%)	0 (0%)	2 (25.0%)	0 (0%)	3 (37.5%)	8	

(3)情報発信の充実

〔事業数〕

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
①情報の多様な発信の強化	1	－	－	－	1	2	X(旧 Twitter)の効果 的な活用・周知を実施
②情報バリアフリーの推進	1	1	1	－	－	3	手話や要約筆記者など の派遣人数の増加
合計(割合)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	0 (0%)	1 (20.0%)	5	

活動指標

↓
結果指標

結果指標

結果指標(市民アンケート結果)	平成 29 年度 実績値	令和3年度 実績値	令和 5 年度 実績値	令和6年度 目標値
健康・福祉情報の入手しづらい人の割合 の減少	21.0%	26.7%	19.8%	10.0%
身近な相談相手のいない人の割合の減少	35.4%	35.7%	5.5%	25.0%

身近な相談相手のいない人の割合は大幅に減少しました。各相談窓口の相談件数は増加傾向にあります。健康・福祉情報の入手しづらい人の割合は目標値を達成していないことから、様々な媒体で市民に情報が届き、必要に応じて相談窓口を活用できる環境を構築していきます。また、庁内各課及び関係機関と連携した情報発信について研究します。

〔柱3〕 だれもが健康でいきいきと暮らせる地域づくり

活動指標

(1) 地域を核とした健康づくりの促進

〔事業数〕

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
①身近な地域での健康づくりの促進	1	－	－	－	－	1	フレイルチェック希望団体が増加
②生活習慣病の予防の促進	－	－	1	－	2	3	市 HP や民間企業との連携による啓発を継続
③こころの健康づくりの充実	1	－	3	－	－	4	対面相談件数は増加傾向
合計(割合)	2 (25.0%)	0 (0%)	4 (50.0%)	0 (0%)	2 (25.0%)	8	

(2) 地域医療の充実

〔事業数〕

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
①在宅医療の普及と定着	－	－	－	－	1	1	多職種が連携した会議など積極的に活動
②救急医療体制の整備	1	－	－	－	－	1	庁内における横の連携を強化し対応
③在宅サービス提供体制の充実	2	3	－	－	1	6	生活援助サービスは増加傾向
合計(割合)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (25.0%)	8	

(3) 社会参加の促進

〔事業数〕

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
①高齢者・障害者の社会参加	－	1	2	1	1	5	就労の定着支援の需要が増加
②アウトリーチの仕組みづくり	－	－	－	－	1	1	関係機関との連携により情報提供の機会が増加
③参加支援の充実	－	1	－	－	1	2	多世代交流や障害理解に関するイベントを実施
合計(割合)	0 (0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	3 (37.5%)	8	

活動指標



結果指標

結果指標

結果指標(市民アンケート結果)	平成 29 年度 実績値	令和3年度 実績値	令和 5 年度 実績値	令和6年度 目標値
健康だと感じている人の割合の増加	75.4%	78.3%	76.0%	85.0%

健康だと感じている人の割合は、平成 29 年度から横ばいで推移していますが、コロナ禍からの回復とともに在宅福祉サービスや相談窓口の件数は回復傾向にあります。
あるゆる立場の人でも、日常的に健康に対する関心を持ち、生きがいをもって楽しく暮らせるような仕組みづくりが必要です。

[柱4] だれもが安全・安心に暮らせる環境づくり

活動指標

(1) 防災・防犯対策の充実

[事業数]

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
① 平常時の防災・減災対策の充実	－	2	－	－	1	3	地域活動が活発になり、講習会や訓練を実施
② 災害時の対策の充実	－	4	－	－	－	4	名簿提供・マッチング済み町会が増加傾向
③ 防犯対策等の充実	－	2	1	－	－	3	防犯講話等によりボランティア登録者数が増加
合計(割合)	0 (0%)	8 (80.0%)	1 (10.0%)	0 (0%)	1 (10.0%)	10	

(2) 居住・移動支援の充実

[事業数]

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
① 居住支援の充実	－	－	－	－	1	1	情報提供を実施
② 移動手段の充実	－	－	1	－	2	3	稼働台数の維持、人員確保を検討
③ バリアフリー化の促進	1	5	－	－	1	7	民間企業によりUD化が進捗している
合計(割合)	1 (9.1%)	5 (45.5%)	1 (9.1%)	0 (0%)	4 (36.3%)	11	

(3) 権利擁護の推進

[事業数]

進捗率	100% 以上	80～ 99%	60～ 80%	60% 未満	未評価	合計	R5 年度末状況
① 虐待の防止	2	2	－	－	－	4	関係機関とのネットワークの構築・連携強化
② 権利擁護の仕組みの周知と利用促進	－	2	3	－	－	5	制度が適切に利用されるよう周知・人材育成
合計(割合)	2 (22.2%)	4 (44.4%)	3 (33.3%)	0 (0%)	0 (0%)	9	

活動指標

↓
結果指標

結果指標

結果指標(市民アンケート結果)	平成 29 年度 実績値	令和3年度 実績値	令和 5 年度 実績値	令和6年度 目標値
生活の安心感を感じている人の割合の増加	77.3%	82.2%	81.6%	85.0%
支援の必要な人が安心して生活できる地域だと思ふ人の割合の増加	57.6%	64.3%	64.7%	70.0%

安心して生活できる地域だと思ふ人の割合は微増し、柏市防災福祉 K-Net についても支援体制の構築状況の向上が見られましたが、市民の認知度は未だ低い状況にあります。地域のつながりの再構築や災害要支援者の支援体制の充実、全ての人の人格を尊重し自分らしく生きることができる地域社会の醸成を図ります。